

御提案書

1. はじめに

『Oracle Planning and Budgeting Cloud Service (PBCS)』は管理会計、予算管理で必要となるデータ入力・データ連携から各種計算処理、レポート・分析をトータルに実現する予実管理まで兼ね備えたアプリケーションでございます。

多くのお客様に予算編成業務から予実管理/着地予測（フォーキャスト）など含めた領域においてご利用いただいております。

2. PBCS で何ができるのか？

◆経営計画業務

- ・中期経営計画/長期経営計画

◆計画/予算編成業務

- ・販売計画/予算
- ・生産計画/予算
- ・購買計画/予算
- ・設備投資計画/予算
- ・人員計画/労務費予算
- ・経費予算
- ・B/S 予算
- ・C/F 予算

◆予算・実績管理業務

- ・予実対比
- ・前年対比（年度/半期/四半期/月）

◆各種損益管理（多次元分析）

- ・製品・商品別損益管理
- ・店舗別損益管理
- ・地域別損益管理
- ・顧客別別損益管理
- ・プロダクトライフサイクル損益管理
- ・プロジェクト損益管理

◆予測管理業務

- ・P/L 予測・シミュレーション
- ・B/S 予測・シミュレーション
- ・C/F 予測・シミュレーション
- ・ローリングフォーキャスト

各種シミュレーション（為替、売上、人員）

例）複数為替パターン（円高、平均、円安）でシミュレーション

単価・売上・販売数など（前年実績の10%増し）

◆その他

- ・実績収集/科目組み換え（コード変換）
- ・予算/実績配賦
- ・経営ダッシュボード
- ・仕訳明細へのドリルスルー分析
- ・KPI（財務/非財務）管理

配賦計算（人員数、経費割合、床面積等）

※Excel にて管理しているものを移行するのに向いている（GUI は Excel を利用できる）

3. 何が改善されるか？

Excel で予算編成を行っておられる多くのお客様は、以下の悩みを抱えておられます。

しかし、PBCS を導入することにより、それらの悩みが解決できます。

- Excel シートの計算式修正、集計の作業工数が膨大
→ データベースで計算式を一元管理、集約計算も可能
- 実績データ取込作業が煩雑で時間がかかる
→ 外部システムからのデータ取込み機能、コード組替え機能で連携が容易に可能
- 予算のバージョン管理が困難(修正内容の確認/比較が困難)
→ バージョンコピー機能で複数回の予算立案比較が可能
- 様々な資料作成による多大な手間がかかる
→ Web レポートや SmartView (Excel アドイン) で提携レポート出力、ユーザーによる SmartView でのレポート作成が可能
- 部門単位でのアクセス権が設定できない (煩雑)
→ Web でアクセス権の一元管理が可能
- 為替変動などのシミュレーションを行いたいが大変
→ 複数レートでの一括シミュレーションが可能
- ファイルサーバーに格納していると外出先 (出張) で閲覧できない
→ 外出先 PC での閲覧やモバイルやタブレット画面での最適化表示にも対応
- その他
ワークフロー (提出、承認、却下等のプロセスをワークフローで管理)
タスクリスト (月次作業をリスト化して作業漏れを防ぐ)
業務ユーザーによる各種マスター変更や組織変更が可能
システムの自動バックアップ機能も提供

4. 利用するデータ

- P/L や B/S データ、人員数などの数値データ
- 時系列 (年月) で管理しているデータ
- 製品別、部門別、地域別、顧客別などのデータ

5. 大建情報システムにおいて Oracle 社の Planning 関係についての主な実績

- 製造業 (HyperionPlanning)
 - ◆ 「管理会計用の経営基盤」システム
制度会計 (STRAVIS) から、予算・実績データを連携して会社別・事業別の切り口で月次の業績管理 (実績分析、見通入力) を運用
- 銀行 (HyperionEssbase)
 - ◆ 「店別部門別損益管理」システム
店舗・部門ごとの業務収益、人員および経費 (人件費、店舗関係費、物件費等) の実績管理を行うシステム
- 住宅メーカー (HyperionPlanning)
 - ◆ 「予算編成、実績管理」システム
Planning にて予算編成 (データ入力)、実績データは他システムから連携、キャンペーンからの売り上げをシミュレーション

以上